

出会い ふれあい 助け合い

サロンあべの

VOL.174

私の楽しみ

フィッシング&ダイビング

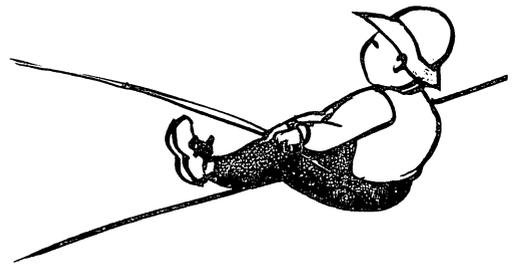
へサロン・あべのの11月の出会い

平成12年11月18日(土)午後
1時からへサロン・あべのの11
月の出会いを開催しました。

11月は、「私の楽しみ」をテ
ーマにダイビングとフィッシン
グでそれぞれ楽しみを持ってい
るお二人の女性にお話を伺いま
した。

安原美佐子さんーダイビング

2年前、友人に沖縄へダイビ
ングに行かないかと誘われた。
イメージとして海に潜ることが
出来るかどうか分からないが、
とりあえず沖縄に行こうと思っ
た。最初はシュノーケルだけ
もと考えたが、友人に海に潜る
ならダイビングの方が良いと勧
められ、借り物のウェットスー
ツを着けて、挑戦することにし
た。宿泊先は那覇、ポイント(海



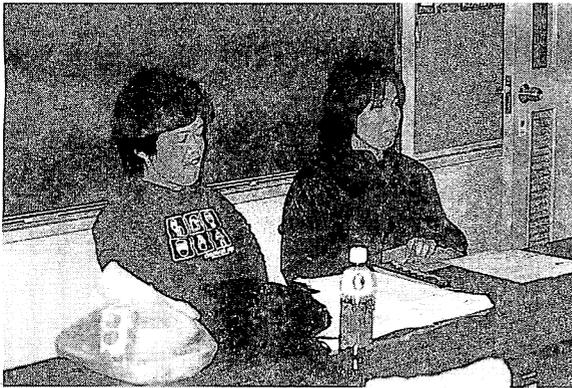
に潜る場所)まで船で向う。潜る準備としてボンベは船上で着けるのが普通だが体力的に重いので、海の中でインストラクターに着けてもらい、15分くらい潜った。これがダイビングの初体験。

翌年、バリアフリーダイビング全国大会に参加した。全国から集まったさまざまな障害を持つ人たちとダイビングを楽しんだ。視覚障害、肢体障害など障害はちがっても、目的を同じくする人たちと、話も合い、交流できたのは大きな収穫だった。もちろん海の中で見る魚の魅力は格別のものがあつた。

ダイビングには1回につき1万円くらいの経費がかかる。それにプラス旅行費用も必要だが海中に見る別世界の魅力には替えられない。ウェットスーツは色やデザインを選んで6万円ほどフィンパツ、体にフィットして

動きやすい自分のものを誂えた。装備も揃え、潜りを楽しむにはそれなりに守らねばならない約束事がある。

例えば潜る時は、ボンベの空気量を確認する。それが半分になったら上がるというルールがある。この確認を怠って、嚴重注意されたこともあるとか。



「私の楽しみ」を話す安原美佐子さんと鈴木千春さん (左)

潜ったあとログブック(潜った回数などを記す日記)にその日の天候や、潜った場所、出遇った魚の名前などを記録するのも大切なこと。

8月には、奄美へ行き、ライセンスを取るため、ビデオを見たり問題集(気圧や空気、身体など)で学習したりして、海の中で安全に楽しむためのルールや技術を覚えた。ライセンスは海洋実習4回で終了し、申請するだけで取得できる。ライセンスを取ればある程度自分の判断で潜れるようになるが、自己管理を怠ると命にかかわる。

ダイビングは自分にとって体力的にきつい、海の中は日常生活とは違う世界があり、目の前に魚が泳いでいて、新しい発見をするのが魅力的ですばらしい。

鈴木千春さんーフィッシング

8年前に車いす生活を始めたが、海に行くことはなかったし、あえて行きたいとも思わなかった。何か楽しいことはないかと探していたところへ友人から釣りに行かないかと誘われた。釣りよりも海へ行けることが嬉しくて、その友人のサークル「釣り鯛クラブ」に参加した。このサークルは、夏場防波堤での釣りが中心。メンバーは障害の有無に関係なく、魚釣りの好きな人たちが集まっている。

それぞれに釣りのスタイルがある。メンバーの中には足でリールを持つ人や、竿を持つのが大変な人は支えを使っている。鈴木さんの場合、指が動かないのでエサ付けと投げ入れは他の人にしてもらい、当たりが来ると自分でリールを巻く。この巻きの感触が楽しくて釣りを続けている。また、当たりがくるまでのおしゃべりも楽しい。アジ

やキスなどがたくさん釣れたときは、料理をしてみんなで食べるこれもまた楽しい。

釣り場所は、車いすトイレのある所を選び、若狭の小浜などへも車で行く。公共の釣り場や南港の海釣り公園には、車いすトイレがある。

釣りは道具か、腕かと言われるが、鈴木さんは経験からポイントが大切だと思っている。行く時間帯は午前2時頃から出て、陽が高くならない間に帰る。

釣りの話でNHKテレビに出演した。このことがきっかけで新聞に掲載された。その記事を見て釣り専門誌の人が知り、取材を受けた。障害を持つ人が釣りを楽しんでいくことを知らなかったという。車いすで釣りと聞いて、大へんだなあと思う人もいるようだが、鈴木さん自身、障害は関係ない、ただ釣り好きが

集まっただけのグループだと思っっている。「釣り鯛クラブ」で知り合った知的障害の人とのかわりや、仲間と過ごす時間が楽しい。

また、何かやってみたくていう意欲がわいてくる。

休憩後、参加者の自己紹介と質問が行われました。

「魚以外に釣るものは？」との質問に「人、新しい出会い」とユーマア溢れるお答が出ました。

お二人のこれからの楽しみは安原さんはドライブ、鈴木さんは雪山でチェアスキーなど。楽しいことを見つけて自分の世界を広げ、新しい出会いを楽しみにしているお二人の元気いっばいの笑顔が印象的なハサロン・あべのV11月の出会いでした。

写 真・山野 荘 一

参加者22名(山村貴司)

私の楽しみ

私の楽しみは、アーチェリー、卓球、唱歌、手話、刺しゅう、編物、手芸なら何でも好き！ と、たくさんありますが、私は今35年前に諦めてしまっていた高校生活を楽しんでいます。

今年の四月から息子の高校編入と、息子の「お母さんも高校へ行ったら？」の一言がきっかけとなって、大阪市立第二工芸高等学校に入学させていただきました。この学校には建築科、インテリア科、デザイン科、クラフト科があります。息子はデザイン科の二年生。私はクラフト科の一年生として、息子と同じ年格好の人たちに紛れて毎日、エンジョイしています。

35年前、私は高校へ行きなかったのですが、進路相談の時、担任の先生がじゃまかさそうな態度で「おまえ、まだ高校へ行くのか？ 体育が出来ないと高校は取ってく



35年目の青春

れないから無理や！」と言われ、諦めました。35年も経ってからチャンスが訪れるなど夢にも思っていませんでした。

先日文化祭があり、私のクラスでは家で眠っている品物を持ち寄って、「さろん亭」のような店を出しました。私は動けないので、座って出来る会計係を与えていただき、みんなでカンバンを作ったりワイワイ、ガヤガヤ言いながら出した店はとても楽しかったです。この年になってこんな雰囲気味わえるのも、とてもありがたいことです。

入学してすぐに、補充クラスと普通クラスに分けるため、国語・数学・英語のテストがありました。英語と国語はそれなりに出来たと思いますが、数学は、XとかY、2乗、3乗の問題がさっぱり分からなくて60%ぐらいは白紙のまま提出したので、てっきり補充クラスだとばかり思っていたのですが、どうにか普通クラスの方に引っかけたようです。が、若い子について行けるか心配だったので、数学の先生の教え方が上手で分かり易いのでクラス分けの時に出来なかったXY、2乗、3乗の問題

が解けるようになり、今では因数分解、平方根とだんだん難しくなってきましたが、今のところ、解けているので嬉しくて楽しくて仕方ありません。

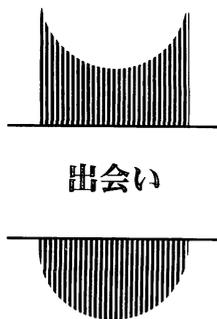
夜間高校なので制服はなく生徒たちはさまざまな格好をして通学しています。茶髪の子やピアスをいくつも付けている子など一見はみだしているような子たちが多いけれども、みんないい子のように思います。私が帰る時、校門の前でたむろしている知らない子が「おつかれ！ おはちゃん気付けて帰りや！」と声を掛けてくれます。私も「ありがとう！」と言って帰ります。ちょっととしたことですが、そう言って声を掛けてもらった時などは心がほんわかとして嬉しくなります。今のところ親子そろって皆勤です。

中間テストが終わってホッとしているとすぐに期末テストと、テストばかりで苦痛もあります。がテストを返してもらって満足のものだった時は喜びに変わります。工芸高校は絵を描いたり、物を作ったり、実習もあるので楽しいです。

高校をすでに終えられている方もリカレ

ント入学というのがありますので、皆様もいかがですか？ 楽しいことにたくさん出会えますよ……

大北 清子



出会い

「サロン・あべの」Vol. 173をお送りいただきましてありがとうございます

た。毎月楽しみに(まさに「サロン・あべの」紙も「私の楽しみ」の一つです)させていただきます。発行のご苦労に対して何もご協力出来ず申し訳なく思っています。せめて、いつも楽しみに読ませていただいているということだけはお伝えし続けていかなければと思っています。これからよろしくお願い申し上げます。ただ、私は仕事柄(神職)土曜日は忙しく、サロンに一度も参加させていただいたことがないのがとても残念です。いつかチャンスがあればと願っています。

今度はまた、産経新聞の市民の福祉賞、そして大阪市よりの感謝状と続けての表彰、まことにおめでとうございます。

「サロンでは、当たり前前の心で話が出来た。今そういう場が社会の中で、日常生活の中で失われているのです。福祉というのは、何も特別なことではないということ。を改めて教えていただきたように思います。通信を読ませていただくことによって、自分自身のひとりよがりや偏りに気づかされることも多いです。人から教わることの大切さを教わりました。ありがとうございます

大相撲観戦

私の楽しみは、大相撲観戦である。実際には一度も観に行ったことはないが、本場所が始まると、毎日、十両から中人後の結びの一番までテレビにかじりついている。

一年の締めくくりの九州場所は横綱曙が十四勝一敗で幕内優勝をして終わった。この場所は横綱、大関が比較的安定していたのと若手力士の活躍で千秋楽まで大混戦だった。それだけに観る方にとっては胸がわくわくして目が離せなかった。

私の大好きな力士は横綱千代の富士(現、九重親方)だった。千代の富士は当時、身長が一八三センチ、体重が一二六キロで力士としては決して大きい方ではない。それにもかかわらず三十回の幕内優勝、五十三連勝、

稲垣 恵雄

②7

晴れのち晴れ

一千勝達成などの数々の輝かしい記録を残している。

千代の富士は、これまで何度も肩を脱ぎゆうするという苦い経験をしている。それで肩を重点的に鍛錬し、振り回す相撲から引きつけて出る相撲に変えて急速に強くなった。

力士いちばんの基本は四股であるが、千代の富士の場合、化粧回しをつけている時でも頭より足の方が高くあがっている。これは足腰がいかに強靱であるかを物語っている。そしてまた力士に不可欠な心、技、体の三つが完成していることは言うまでもない。

大相撲はだんだん人気が落ちてきているそうだが、千代の富士のような心身ともに強い力士がどんどん出てきて本場所を大いに盛り上げてほしいものである。

ました。

私の楽しみは、やはり「出会い」ですね。「サロン・あべの」紙もそうですが、これからどんな人に出会おうか、とても楽しみです。

阪井健二



パソコン

11月の例会で「楽しみ」について話を聞かせていただき、積極的なお二人の楽しみ方に感銘を受けました。

引き替えて私は？

実はあるんです。それも今年の7月から・・・(初めて人様に言います)70歳からなので大分思案したのですが、パソコンの画像処理に挑戦することになりました。主に山の写真ですが、整理してまとめてみたいと考えてパソコンを購入したのです。できればA4のサイズに短い文章を入れて、70



く80枚くらいを選んでみたいと頭の中で考えているのです。何しろ初心者で、パソコンが簡単に言うことを聞いてくれませんので、苦闘しているところです。

さてとなると写真を選ぶことから、どのように組み合わせるか、なかなか決まりません。その過程を楽しんでいるわけで、いつ完成するかまったく先行き見当もつきませんが、毎日パソコンとニラメッコしている私です。

山野 荘一



生きていくこと

ご依頼の原稿の件ですが、私には楽しみらしき物が見つからず、今の環境からは考えにくい内容です。富田さんからの依頼ですので、今の自分を書くことにしますが、的はずれですので、原稿からはずしてらって結構です。

私は左下肢障害で、NTTに15年勤務しています。結婚するまでは、障害者運動に参加していましたが、今はしていません。

ご存じの通り、今は社会の変革期にあります。今までの常識が潰れて新しく変わります。第三次産業革命の時です。networkの時代の時代です。年功序列がこわれ、実力の世界がせり出します。企業もグローバルな目を向けなければ生き残れません。これまでにない世界がこれからです。男だろうが、女だろうが、障害があろうが、実力があれば生き残れます。実力をつけるの

です。コンピューター時代は障害者にとって有利な就職条件だと思います。ようやく望んでいた時代が来るのです。社会に支えられる障害者から、社会を支える障害者がぞくぞく出てくる可能性があります。行政はそのために存在するのではないのか。すいません、つい興奮してしまいました。

私にとっての本题に入ります。変革に対応できる自分を創り、企業の中で生き残ることこそが、今の私のやるべきことです。それがこれからはとてみたいへんです。学生の時よりも多く本を読んでいます。出世を考えているのでは、ありません。普通の生活が望みなのです。多くの企業が再編を考えています。わが企業は典型です。現在多くの人がリストラされています。企業の中でこれからなにができるのかを表明し実行しなければ、社会が企業が認めてくれません。しっかりとした生活スパンを持ち、家族を愛し、親の威厳を持ち、子供にスペースと教育の場を与え、借金を返す。これが私の必須課題です。こうやって書くのは簡単ですが、目的が遠いので維持させるのがなかなかたいへんです。しかし、家族を持

っている男は、多かれ少なかれこんな考えは持っています。今までのような社会なのであればこんなに考えることはありません。会社がやるべき仕事を与えてくれているのですから。これからの社会は今までと違い、先の見通しが見えないのと、今までの社会を変革せざるを得ないからです。なるようにしかならないと考えればそれまでですが、私は籠ってじたばたします。私は多くのものと戦っています。社会に環境に流される自分を哀れに思いますが、卑下はしていません。私の楽しみとは、目的の過程です。自信とプライドを持って、じたばたして、わくわくしている瞬間です。なぜか結果はさほど感じません。よくて当然、悪ければやり直せばよい。

具体的でないので、わかりづらい文章ですが、引退した爺さんではないので、楽しみらしき楽しみはないのです。いまの正直な気持ちです。毎日こんなことばかり考えてはいけません。季節ごとに家族や友人と旅行をしたり、酒を飲んだり、夏は海水浴に行ったり、mailのやり取りをしたり、いろいろしていますが、私の楽しみとは思

えないから不思議です。

障害者運動で仲間を持ち、戦いとる目的に向かっていた時は、わくわくした楽しみがありました、あつたように思えます。

何かに対して戦ってないと落ち着かないのでしょうか？ それにはピツタリの時代なのかもしれません。目的によって友人が変わっていくごとに自分も変化していきます。学生時代、入院していた病院で読んだロマン・ロランのジャン・クリストフのアントワネットの生き方が忘れられないのです。楽しむことばかりを考えるより、今すべきこと、目指すものを重きに考え生きていることが、生きていることになると思います。

k a d o k a m i s h i n y a



みんなと行く旅

私の楽しみというところ、私が入会している堺市障害者協会の人たちとの旅行です。

協会では、一年に二回、日帰りバス旅行

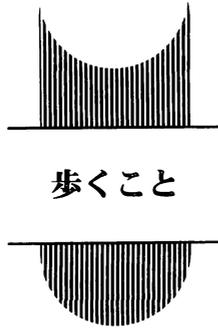
や一泊か二泊の旅行を春と秋に計画してやっています。

私は、入会して二年くらいなので、修善寺温泉や下呂温泉などに行きました。

個人ではなかなか行けない所でも、団体では行けますし、新しい人との出会いもあって、たくさん思い出も作れるので、とても楽しみの一つになっています。

今年の旅行には、骨折した足にも不安があり、参加できず残念でしたが、来年は参加できるのを楽しみにしています。

堀田 ゆかり



歩くこと

朝、仕事場までバスを使えば15分程度で行けるところ、歩いている。夏はさすがに暑さでまいってしまうので、この涼しくなってきたらやと始めた。身体のため、とは二の次の理由で、空の高い晴れた日の朝に

歩くすがすがしさが手足をも目覚めさせてくれて朝のスタートになる。

いわゆるウォーキングという格好のいいものではない。履き慣れた靴にしっかりと歩けるよう、パンツかゆったりとしたスカートを着る。歩きながらショーウィンドウに映る自分の姿勢を見て、背中がスツキリ伸びているかも確認しつつ、ひたすら歩く。

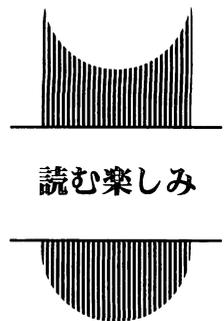
40〜50分で到着、そのときには身体が芯から温まり、かるくウォーミングアップしたような状態になる。これで、仕事を始めるのである。

歩くことでどれだけ仕事の能率が上がっているのかわからないが、すくなくとも気持ちにゆとりを持つことはできるように思える。

苦しいと思わず義務感があるのでなく、ただ歩きたいから歩く、その結果心地よい時間が得られる。

当分の間、歩くことから離れられそうにない。

出口 美和



読む楽しみ

私の楽しみは、「サロン・あべの」紙を読むことと、岡知史氏の「知らされない愛について」を読むことです。そして、それらを知らない人に知らせることです。

それは、内容が良いからです。

田村 昌子

(電話)



自立生活理念を考える —自己決定と介助—

■ 7 ■

黒田隆之

今回は、介助者と介助を必要とする障害者の関係（介助関係）について考える。これまででは多くの場合、介助する者と介助される者は同じ選好を持っているか、もしくは介助者が介助を受ける側の立場になって、その人の身になって介助のあり方を考えるという方法が、当たり前のようにならわれてきた。障害者の自立生活や自己決定ということを考える場合、介助関係を、自己決定をいかにそのままの形で実現するかという意思を持つ障害者と、意識しているか否かに関わらず障害者の自己決定とその実現に干渉する可能性のある介助者との関係、と

してとらえる必要がある。十分な量の介助サービスがありさえすれば自立生活が可能になると考えるのは短絡的であり、実際に介助がどのような形で提供されているのかということが検討される必要がある。

障害者が、いかに自己決定を行いそれを実現していくかということは、誰が介助関係を支配・管理しているのかということと関係する。支配されている者は、支配する者に比べて自己決定を行いくいし、行つたとしてもそれが実現するかどうかは、支配する者の裁量によるところが大きい。

「支配」とはどのような意味か。『社会学小辞典』（有斐閣）では、「個人的ないしは複数の人間が、優越的な地位に立つことによつて、他の人間の行動を継続的かつ効果的に規定し、そこに従属関係を成り立たせる場合、支配（関係）が生まれる」と説明されている。

支配の背景にあるのが「権力」であり、藤田弘夫先生は「人間は生きていくなかで、自己の欲求を充足するには、常に他の人的・物的資源が（欠如）していることに直面する。そこで人々の欲求の充足を「保障」

するために、欠如している人的・物的資源を支配するものとして『権力』が生み出されるのである。つまり権力は個人では達成できない目的を達成するために、人々の生活の（保障）と（支配）の関係として形成されるのである。この意味で、支配なき権力もなければ、保障なき権力もないのである」と述べている。

障害があること自体が人的・物的資源の欠如であるのかという問題はさておき、公的な制度を利用したフォーマルな介助関係であれ、家族・友人などによるインフォーマルな介助関係であれ、障害者にはできないことがあつて、それを可能にするために介助が必要となるという構造は変わるものではない。介助者が介助することを止めてしまえば、障害者は生活を維持していくことができなくなってしまうということを考えると、両者の間で介助以外の何の交換も行われなければ、介助者が権力を持つことは明らかである。そのため、障害者は自らの生活の安定を求めれば求めるほど介助者に従順にならざるを得ず、自己決定を行いくくなるというジレンマに陥る。

〈サロン・あべの〉とは？ 7

うえひら☆ゆきお

今回は、運営委員として参加している健常者。加賀谷さんの例を、取り上げたいと思います。

いつも、あまり自立たない人ですが、毎月の出会いへの出席率は、かなり高いと思います。逆に言えば、彼がいないと困ることが多く、随分、頼っている面があるので。健常者と障害者が、対等な立場で語り合う。それが、毎月の出会いの目標でもあります。しかし、そうは言うものの、会場の設営や後片付けなど、また、見学会やバザーでも、やはり、彼のような健常者がいなければ、スムーズな運営はできません。

★何が大切か

「忙しすぎる」という愚痴ほどつまらないものはない。「いったい何でそんなに忙しいのか」と聞きたくなる。どうでもいいことをいくらでもやっているから

加賀谷正 (かがたにただし)

彼が、〈サロン・あべの〉に初めて参加したのは、サロンが誕生して二、三年後のことです。当時、運営委員だった故・斎藤隆文さんの介助者としての参加でした。

ボランティア活動を始めたのは、それよりも、もう少し前のことです。ぼく自身も、その頃から、彼のことを知っていました。その後は、〈サロン・あべの〉への参加と並行して、地域で自立生活をしている障害者の泊り介助や、応援センターの登録ボランティアも続けていました。つまり、ボランティアとしては、かなりのベテランです。

そんな彼は、〈サロン・あべの〉の運営

に長く関わってくれている理由(魅力)として、障害のある人もない人も、対等に話ができることのすばらしさをあげています。介助ボランティアでは、する側とされる側が対等な関係になりにくいものです。

しかし、富田さんの思い入れがあったからこそ、〈サロン・あべの〉は、こうした対等な雰囲気になったと感じているそうです。また、会費などのお金がかからないこと。いろいろな知識を吸収できることも、〈サロン・あべの〉の魅力だそうです。

結婚をして、子供が生まれて。そんな生活の変化にもかかわらず、継続して参加してくれている加賀谷さん。これからも、よろしく願います。

忙しいだけではないかと皮肉を言いたくなる。

だから私は「忙しい」とは言いたくない。実際、私は学生時代から「忙しい」

と、よく周囲の人に嘆いていた。いま考えれば、学生時代にそんなに忙しいはずはない。少なくとも私の場合はそうだった。にもかかわらず、私は忙しいと感じ

ていた。忙しいはずがないのに忙しいと言っていた。そこに問題がある。

いまもまたサロンの原稿は提出が遅れ、今夜も深夜二時、三時まで明日の授業の準備になるだろう。「私は忙しい」。しかし、これも疑わしい。学生時代の私がもし、いまの私の目の前にいて「忙しい」と言えば、私は笑うだろう。同じように、いまの私の生活も本当に忙しい人から見れば、「忙しい」とは言えないほどのものに違いない。

だが「忙しい」という感覚は私を苛立たせている。私を容易に怒らせ、尊大にさせ、人との対応を粗略にさせている。

「忙しい」という感覚は失業中の人に比べれば「贅沢な悩み」であり、むしろ快く受けなければいけないものだと思っていた。しかし、私の心を蝕(むしば)んでいることも確かである。

その忙しさから、私を少し解放してくれる本があった。それがコーベイという人の「第一のものは第一に」という本である。内容は簡単だ。「忙しいときにこ

そ大事なものを優先しなさい」ということである。

その本によれば、人は忙しいのは「重要ではないが、すぐにやらなければいけないこと」が多すぎて、「すぐにやらな



ければいけないわけではないが重要なこと」をする時間が足りなくなっているからだという。

「重要ではないが、すぐにやらなければいけないこと」の例として私がすぐに

思いうかぶのが、電子メールの返事である。私はホームページを公開しているためか、毎日たいへん多くの見知らぬ人からメールがくる。「* * * について研究しているので、ぜひお会いしたい」「* * * について参考文献を教えてください」「* * * をもらえないか」など、内容は多種多様である。そのひとつひとつが丁寧に時間をかけて書かれているので、それに相応するような返事を書くには、かなりの時間がかかる。毎日二時間ぐらいメールの返事にあてても足りないくらいかもしれない。

丁寧に書かれたメールに返事を書かないのはたいへん失礼なことである。「礼儀知らず」と思われることを恐れて、私は長い時間をかけて返事を書いてきた。

しかし、それも止めようと思う。自宅に帰ってくるやいなや、妻子に背を向けてコンピュータの前に座り、見知らぬ人のメールに返事を書きつづけるのは、いかにも人として不自然である。

手紙やハガキの類も、よく受取る。その返事を書く時間がなくて、旅先にまで持っていったことが何度もあった。しかし、それも諦めよう。私には無理なのである。無理なことをしようと思ってもできるはずがない。

何がいま自分にとって大切なのか。いつも問うていくことが重要だ。そうしなければ他の人の要求で動くようになる。自分の人生で自分が主人公ではなくなるのである。
(知)

感謝

カンパ、切手、写真、朗読テープ等のご寄贈を、またサロングッズのお買い上げへありがとうございます。

有野千代乃、生駒莊太郎、糸でんわ有志、井上礼子、大西暉子、木村節子、神城昭子、阪井健二、高木陽子、谷田育代、田村昌子、中野咲子、三好桂子、山野莊一、その他の方々

まきみみすきん

奥田真祐美リサイタルの夕べ

十一月十一日にサンケイホールで催された、シャンソン歌手奥田真祐美さんのリサイタル―愛ただそれだけを鑑賞した。

お宅の庭の保存樹、クスノキとともに阿倍野区の住民や、サロンの皆さんもお馴染みの方だが、私は所属している音訳グループで、奥田さんのエッセイを

読ませていただくことになったので、この五月に初めてコンサートを観せていただいた。その時のステージにすっかり魅せられ、今回は一ファンとしての鑑賞だった。

第一部は恋愛の歌。赤いドレスで曲のイメージに合わせ、恋の楽しさ、喜び(私の回転木馬の心はヴィオロン…)を歌い、また絶望と苦しみ、切なさ(王様の牢屋、愛の賛歌…)を黒い

スカートと証明を効果的に使い表現された。

第二部は、クスノキの精のよう緑の光に包まれて、奥田さん自作の「クスノキのうた」から始まり「ヒロシマ」「人生は美しい」など自然や人生への思いを歌われた。

前回のコンサートでは、さとう宗幸さんとの共演ということに控えめで華奢な印象だったが、リサイタルでは清楚な中に色っぽさや、強さや、人生のキャリアを感じさせる堂々たる歌いっぷりで、短い時間の間に凝縮されたいくつものドラマを見る思いがした。その表現力の豊かさや、技術に流されない誠実な歌い方に感動した。

(表谷恵美子)

植物あれこれ 第二十三回

山口康二郎

ハーブ(2) しそ科のハーブ
②ミント

前号で、最後にミントについて独立した鉢で育てた方がよいと書きましたら、その理由の問い合わせがありました。実は二つの意味があります。

一つ目は、根の発育が旺盛なために、他の植物の成育を妨害することになりかねないことです。私の経験では十五センチの板で仕切りをしていたのですが、翌年には軽々とその下をくぐって、三年後には三平方メートルの花壇が全部スペアミントに占領されたことがあります。特に繁殖が旺盛なのは、スペアミントとオーデコロンミントです。

二つ目の理由は、ミント類を混植していると交配し、結果的に香りが薄くなってしまうことです。鉢植えでもミントは隣合わせには置かないように気を付けることが大

切です。

さて、ミントといっても私の知っているものでも十六種類あり、それぞれに特有の香りがあります。前述の二つの他、ジンジャーミント、アップルミント、パイナップルミント、ペパーミント、コルシカミントなどなど、きりがありません。

それぞれ好みがあると思いますが、私はパイナップルミントが大好きです。文字通りパイナップルの香りがして、葉に美しい斑が入っています。



疲れたとき薄い紅茶に二、三枚の葉を浮かすだけでほのかな香りを漂わせてくれ、スーとします。このミント類に新しい種類がまた誕生しました。「ネペタ」という品種です。別名はブルーキャッツアイミントといえます。この名前はその花に由来します。つまり、碧い猫の目のような花が咲きます。香りは、今までのミントにはない独特のもので、一度花屋の店先で嗅いでみられたらいかがでしょう。

ミント類は、現在はアメリカで最も多く栽培され、消化作用のあるお茶として利用される他、ガムなど製薬用に使われているのはご存じの通りです。その他鎮静作用があり、乗り物酔い、食中毒、嘔吐、下痢、など消化器官と関連ある、あらゆる症状に効能が認められています。

ただし、ミントには「ケトン」類が含まれているので妊娠中の方、乳児、三歳以内の幼児には使用しないこと。

このように忌避事項のあるハーブは、他にもあります。ブームに乗って未知のまま使用するのは危険なことがあることを、くれぐれも留意しましょう。

美智子のこんな話

岸田美智子

まいど公開セミナーのお知らせ

自立生活センター「まいど」では、毎年二月頃に、現在問題となっている、さまざまな差別の問題と、社会的な支援の在り方についてのテーマで、公開セミナーを開いてきました。

今年度も来年二月に、左記の内容で予定しています。当日は、精神障害者の方々による楽しいミニライブなども、行う予定です。あなたもこの機会にデリケートな心の問題にふれてみませんか。ぜひ、ひとりでも多くの方々の参加をお待ちしています。

記

日時 二〇〇一年二月二十四日(土)

午後一時〜四時三〇分

場所 長居障害者スポーツセンター

二階講習室

(TEL 〇六―六六九七―八六八二)

テーマ 精神障害者が気楽に地域で生きていくために:

内容:

精神障害者の日々の生活の苦労や

地域で生きていくための、制度的

な課題と必要な支援について。

講師 塚本正治氏

プロフィール:

病、障害と友だちになって、14年

目になります。いろいろな人と出会

い、いろんな葛藤をして、今思う

ことは、「思い出は美しく錆びて

ゆく」から、新しい出会いを捜す

方がいいということです。大阪精

神障害者連絡会(ぼちぼちクラブ)

の代表をしながら、大阪市内、第

一号の精神障害者地域生活支援セ

ンターの職員をしています。「継

続は力なり」まあ、そんな話を聞いてやってください。

*ギター演奏によるミニコンサート

資料代 五〇〇円

〇連絡先

自立生活センター・MYIDOKUまいど

(担当 池田)

〒五五八―〇〇〇二

大阪市住吉区長居西一―九一十二

TEL 〇六―六六〇九―三三三三

FAX 〇六―六六〇九―三三二一〇

E-mail

cl-mydo@jasmine.ocn.ne.jp



アメリカからのお便り

もっと早くにお手紙を出せなくてごめんなさい。本当にじめじめした、ひどい天候が続きました。3日間ずっと寝たきりで今日やっと起きられました。それで、寝ていた間にたまってしまった仕事を片づけているところでです。なんてひどい痛みなんでしょう。

ゲアの手術はうまくいきました。腫瘍の98%を取り除くことが出来ましたし、残った2%も、非常に進行の遅い腫瘍なので、今のところ心配ないとのこと。今月末に診察に行って医者意見を聞いてきます。

学校が始まりました。ジェラミアは高校2年生になりました。彼はパートタイムで技術センターに通って、コンピューターでホームページのデザインを勉強しています。これは気に入っているようです。先生方のノートパソコンを使って、校内行事の照明、音響を担当しています。このことは大いに自信になっているようです。でも、もう少し勉強の方にも、時間をかけてくればと思っています。この学校は少し変わっていて、高校生よりも小学生の方がずっと宿題が多いんです。これで、ここの高校生は、大学に行けるんでしょうか。

スーザンは9年生です。この学校では、9年生は高校生ということになります。彼女はチアリーディングと弁論、それとブラスバンドもやるつもりでいます。トロンボーンを吹いています。彼女は、こうした活動にぴったりの声をしているんですよ。(はっきりいうとおしゃべりなんですけどね) 本当に子どもってあっという間に大きくなるものですね。つい昨日まではヨチヨチ歩きだったような気がします。スージーは今年の夏、車の運転を習います。

今年は、ジェラミアに免許を取ってほしいと思っています。以前から私は彼に、運転免許は、自由を意味するんだと思っています。運転免許というのは、十代の子が一番ほしがるものだと思います。小さい町では特にそうです。彼は運転にあまり自信がありません。父親が教えているんです

が、もっと外に出て練習する必要があります。早く免許をとってほしいものです。私が車を運転できないので、きっと大助かりです。

私は水曜日に歯の手術をすることになっています。2本抜いた以外は、全部自分の歯なんです。RSDと骨粗鬆症が、私の歯からカルシウムを奪ってしまって、トーストを食べようとしても、歯がかけたりするんです。

先日、休暇から家に帰ってみると、家中ひどい臭いがしました。初めは何か解らなかったのですが、誰かが知らずに地下のフリーザーのコンセントを抜いてしまっていたのです。肉その他の食料を買ったばかりだったので、そのひどい臭いに、悲しくなり、気分も悪くなりました。バイ菌やウジムシのわいた肉はひどいものでした。食料は、私が手袋をして2枚重ねの袋に入れて、子どもたちが、そのフリーザーを上を持って行って、庭の端まで運びました。庭が広いのがせめてもの幸いでした。新しいフリーザーを買わなければなりません。これをなんとか漂白消毒して使おうかとも考えましたが、もう古いフリーザーでもあるし、病気にでもなっただけで済ませてやめました。セールで中古の物を買うつもりです。今度背の高い物にするつもりです。私の背中の負担も軽くなるし、場所もあまり取らないでしょう。前は、すごく奥行きが深く、食料の箱は底の方に入れておかないと、私の手が届かなくなりました。子どもたちは、お母さんは本当に背が低いといっています。

昨日、上の歯を抜いてもらって、腫れています。来月は下の歯、そして3週間後には入れ歯を作り始めることになっています。7週間かかるそうです。

それでは、からだに気をつけてください、そして神のお恵みを。

パティ

訳：林 正弘

Dear Keiko:

I'm sorry I haven't got in touch sooner. The weather has been damp, humid and just plain awful. It hits my pain really hard. Today is the first time I have been out of bed in 3 days. Then I have been playing catch up with all the chores I didn't get to do when I was in bed. What a pain!!! Ha!

Ger's surgery went well, they were able to remove 98% of the tumor. They are not worried about the 2% left as yet. It is a very slow growing tumor. He goes for a check up the end of this month so we will see what the DR's say.

School has started. Jeramiah is in the 11th grade. He is going to a technical center part-time. He is learning web design for the computer. He should enjoy that. He also keeps the teachers and the principals lap tops in order and is the lightening and sound director for all school activities this has helped his self esteem a lot. I wish he would dedicate more time to studies though. This school is weird the elementary school kids have a lot of homework where as the high school kids have less homework. I don't think most of the seniors are ready for college.

Susan is in the 9th grade. At this school it is considered high school. She will be in cheerleading and forensics again as well as band. She plays the trombone. She has one of those voices that carry (nice way of saying loudmouth Ha!) these groups love that.

Boy, they sure do grow up fast!!! Seems like yesterday they were learning to walk. This coming summer Susie will be learning to drive. We hope Jeramiah will get his drivers license this year. I keep telling him it means freedom. I thought that is what most teenagers want, especially in a small town!!! He doesn't have enough confidence with his driving. His dad is the one teaching him and they need to get out and drive more. I would like to see him get his license soon. Since I don't drive it would help me too.

I am suppose to have dental surgery done Wed. I am having all my teeth but 2 taken out. The RSD and osteoporosis have robbed the calcium from my teeth and the break off just from trying to eat toast!!!!

We got home from vacation and there was an awful smell in the house. Couldn't figure out what it was. Well, I finally did-Someone accidentally unplugged the freezer downstairs!!!! We had just bought meat and other food!!!! I was just sick!! Both figuratively and literally!!!! Meat with e coli and other nasty bugs is awful!!!! I had to use gloves and double bagged what I could get out by hand then the kids had to take the freezer upstairs and out to one end of the yard. Thank goodness we have a lot of land!!!!

Now we have to buy a new freezer. We thought about just bleaching it out real good but it is an old freezer and don't want to take the chance of contamination. Hopefully we can get a used one on sale. I would like an upright this time. Will be easier on my back and less wasted space. The old one was so deep I had to put boxes in the bottom so I could reach the food. I'm really short my kids tell me!!! Ha!

I had the upper teeth pulled yesterday. Wow am I sore!!!!!! They will do the bottom next month. Then 3 weeks later I will start the process for dentures. That will take 7 weeks!

Hope you are fine,
Take Care and God Bless,
Pati

「産経市民の社会福祉賞」府内から3団体

障害者など社会的、身体的なハンディを背負った人々を手助けする活動に励む近畿の個人、団体に贈る第二十六回「産経市民の社会福祉賞」(産経新聞大阪新聞厚生文化事業団主催、産経新聞社後援)。府内からは、精神保健ボランティアグループ「サン・アーチ」▽サロン・あべの▽手話サークルかめのこの3団体の受賞が決まった。表彰式は十六日、大阪市北区の新阪急ホテルで行われる。

あす表彰式

車いすでタンゴに挑戦するメンバー。健常者と障害者の垣根はない



多彩なテーマで 出会いと交流

「サロン・あべの」(山村貞司・代表)
大阪府阿倍野区阪南町

障害者(健常者)と一緒に
なつて毎月のテーマを決
め、講演などさまざまな活
動を通して出会いと交流の
場を広げてきた。テーマは
「車いすで行くデトスボ
ット」といった障害者の体
験から「タイ人によるス
イ料理」など多彩。車い
で生活する婦人が「アチエ
リ」に挑戦したり、視覚障
害者が一人で外出できるよ
うになったり、活動がマン
ションに広がった。

「気軽に参加できること
が大切」と山村貞司代表
は話す。

昭和六十一年三月の発足
以来、延べ三千五百人近い
人が活動に参加。発足当初
は珍しかった同様のサロン
は現在、大阪市内だけで八
カ所に広がった。

「昭和三十二年三月の発足
以来、延べ三千五百人近い
人が活動に参加。発足当初
は珍しかった同様のサロン
は現在、大阪市内だけで八
カ所に広がった。」

出合いを求めて

第26回「産経市民の社会福祉賞」(産経新聞大阪新聞厚生文化事業団主催、産経新聞社後援)に、10件(11団体と2人)が選ばれました。この中にくサロン・あべの>が入りました。

障害のある人と健常者の出会いの場作りをしてきた、この14年余りの活動が認められたそうです。サロン活動は、毎月の出会いを基に、そこで出会った人たちのつながりを大切にしたいと考えて運営してきました。今、こうして栄えある賞を受賞できましたことは、その多くの人たちの温かい励ましと心強い支えがあればこそと、感謝しております。記者から「月平均の参加人数は?」と聞かれました時、およそ20人と答えましたところ、年に240人、10年で2400人。14年と今日までで…3500人とされました。思いもしなかった大きな数字に驚きましたが、それ以上の人たちとの出会いがあったことは確かです。これからも、さまざまな出会いを通して、皆様と共にサロン活動を続けて参りたいと存じます。今後ともどうぞよろしく、ご支援・ご協力をお願い申し上げますと共に、厚くお礼を申し上げます。

平成12年11月16日(木)、新阪急ホテルに於て開催された授賞式には、来賓代表として、音読グループ「糸でんわ」の井上礼子様に出席していただき、サロンからは3名(富田・藤井・山本)が参加いたしました。

朗読テープのご案内

朗読グループ「ほけっと」のご協力で(サロン・あべの)紙一七三号の録音テープ(六〇分)が出来ました。

朗読テープ文庫

- I (サロン・あべの)紙は、第一号より一七三号までそろっています。(五〇号は九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は二〇分テープ二本)
- II (サロン・あべの)十周年記念誌「はーとが、はろー!」(九〇分テープ二本+二〇分テープに収録)
- III 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- IV 「ラジオたんぱ」放送「(サロン・あべの)平成七年五月の出会い」放送分(三〇分)
- V エッセー集「逃げた『ヨナ』くボランティア活動の周辺」(岡本栄一著)糸でんわ音訳
「キミたちだけじゃ困るんだ」身障者だけで旅した十余年」(山田誠1995・2・22著)糸でんわ音訳
- VI 「金子みすずへの旅」(島田陽子著・九〇分テープ二本)糸でんわ音訳
- VII 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一著・九〇分テープ四本)糸でんわ音訳
「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著・九〇分テープ五本)糸でんわ音訳
- X 「セルフヘルプグループ」(岡知史著・九〇分テープ二本+二〇分テープ)糸でんわ音訳
「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修)大阪市立天王寺図書館制作
- XI 「知られぬ愛について」(岡知史著・九〇分テープ二本)ほけっと音訳
- XII いずれもご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田までお申し出ください。
(☎〇六・六六九一・一〇二八)

おしらせ

<サロン・あべの>1月の出会い

日時 = 1月20日(土) 午後1時~4時

場所 = 育徳コミュニティセンター2階

(スロープ・車いすトイレあり)

[阿倍野区阪南町5-15-28]

内容 = 「エンジョイライフ」

~自分で決める好きな服、

快適な服~

パネラー=小野潤氏

「我流彩彩」主宰

会費 = なし

お問い合わせ先=

TEL 06-6691-1028 (富田)



ハートブレイク

「5周年記念企画」

こんにちは、

21世紀の思春期

家庭で! 学校で! 地域で!

ハートブレイクは多職種のボランティアにより「思春期、こころ&カラダ・性の相談」と題した電話相談を始めて5年を迎えることになりました。そこで記念企画として、「こんにちは、21世紀の思春期」を開催します。みなさまのご参加をこころよりお待ちしております。

日時=1月27日(土) 13:30~19:30

場所=新神戸オリエンタルホテル
真珠の間

トーク&ディスカッション

13:30~17:00

参加費=一般/4500円

学生/3000円

トーク&パーティ 17:30~19:30

参加費=7500円

主催: JFPA/ハートブレイク

問い合わせと申し込み先:

TEL・FAX...078-851-7418

Eメール...h-break@Portnet.ne.jp



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」1月の出会い

日時: 1月21日(日) 午後1時30分~午後4時
場所: 淀川区民センター「やすらぎ」
大阪市淀川区三国本町2-14-3
内容: 自立・介護を助ける住宅改造
~高齢者や障害者の住宅改造や
補助器具製作について~

パネラー: 畑 俊治氏

ふくてっく基本事業部理事

会費: なし

問い合わせ先: 淀川区社協(ボランティア・ビューロー)
☎06-6394-2900

■「サロン・ひらの」1月の出会い

日時: 1月27日(土) 午後1時30分~4時
場所: にこにこセンター3階
大阪市平野区平野東2-1-30
内容: 新年かるた取り大会!

会費: 200円

問い合わせ・申し込み先: 平野区ボランティア・ビューロー
大西 ☎06-6795-2200

■「サロン・にし」1月の出会い

日時: 1月13日(土) 午後1時30分~4時
場所: 西区ボランティアビューロー室
大阪市西長堀区長堀4-5-14 6階(西区役所隣)
地下鉄=西長堀駅4-A号出口からすぐ
市バス=地下鉄西長堀駅からすぐ

内容: みんなで、絵手紙を作ろう!

*必要なものはかき数枚・絵の具

会費: なし

問い合わせ先: 宮脇 ☎06-6537-0241

■「サロン・たみ」1月の出会い

日時: 1月27日(土) 午後2時~4時
場所: 伸幸苑
伊丹市寺本6-150

内容: 楽しい音楽会

会費: なし

問い合わせ先: 橋本 ☎0727-76-6765 (19時以降)

■小さな友の会・こころの集い

日時: 1月20日(土) 午後6時30分~
場所: 岸和田市福副総合センター
岸和田市福副町1-5-5 ☎0724-38-2321

内容: 震災を希望と共に未来語り継ぐために

パネラー: 上原孝一氏(元王子公園阪神住宅自治会々長)
ほか 神戸の皆さん

会費: なし

問い合わせ先: 小さな友の会 ☎0724-22-0686 (夜7時以降)

E-mail: tiisanatomonkai@di.pdx.ne.jp

■「ウイズ東淀川」1月の出会い

日時: 1月14日(日) 午後1時30分~4時
場所: マノン・リベレテ ☎06-6325-3347
内容: 新春カラオケフェスティバル

みんなで歌おう 21

講師: 今道(いまみち) 歌唱会社中 ほか

会費: なし

問い合わせ先: 鈴木昭二

☎06-6340-3082 FAX06-6340-3012

From EDITOR

編集後記

<サロン・あべの>の節目の年や「サロン」紙が節目の時
どきに、一筆箋・絵はがき・かるた・記念誌など<サロン
・あべの>ならではのグッズや冊子をいろいろ作ってこら
れたが、このつぎは何がお目見えするか、「私の楽しみ」です。と、今月号の特集「楽し
み」に寄せて、池田のTさんからファクスが届きました。(石)

編集人; サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.174 [H.12.12.16.発行] 定価¥100.

代表; 山村貴司 ☎546-0033 大阪市東住吉区南田辺5-1-18 TEL06-6691-9071

連絡先; 富田慶子 ☎545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 TEL・FAX06-6691-1028

表題; 井上憲一・筆 文中イラスト; 石田美禰子

郵便振替口座; サロン・あべの 00950-9-26941

印刷; セルフ社 ☎546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDビル2F TEL06-6719-8212